

平成26年度 人権教育推進計画

学校名	小浜市立内外海小学校				学校長名	岩崎 好信	
学級数	6	児童数	79	教職員数	11	人権教育主任名	桂田 久美子

1. 人権教育目標

自他の人権を尊重し合い、差別や偏見・不合理を許さない子どもの育成

2. 重点努力目標

- ・ かけがえのない命・存在・尊厳を認め合う子を育成する。
- ・ 差別や偏見・不合理をゆるさない心を育成する。
- ・ 人のために尽くす喜びを知り、自己有用感を持つことのできる子を育成する。

3. 具体的推進計画

(1) 各教科等でねらうもの

- ・ 道徳の重点項目を「生命の尊重」とし、児童の実態に即した資料の活用と人権教育の視点に立った授業の展開に努める。
- ・ 生活の中にある、様々な差別・偏見・不合理に気づき、厳しく追及し、解決できる力を育てる。
- ・ 豊かな体験活動を通し、人との関わり方や自分の生き方について考える場を設定する。
- ・ 自ら課題意識を持って学習に取り組み、課題を解決しようとする力を育てる。
- ・ 個の習熟度に合わせた支援を通して、基礎基本の知識・技能の定着を図る。
- ・ 各教科の特性を生かしながら、科学的・合理的な見方や考え方を育てる。
- ・ 読書を通して、豊かな心情を育てるとともに、自己の生き方を考える機会とする。
- ・ 互いの違いや個性を認め合い、助け合うことができる仲間づくりを目指す。(心の居場所のある学級づくり、異学年集団による活動、自治的な委員会や係活動)
- ・ 学級活動や保健学習、日常生活の指導を通し、基本的な生活習慣、自立心、自己抑制力、責任感を身につける。

(2) 教職員の研修

- ・ 授業研究・研究授業により、確かな基礎学力の充実を図る。
- ・ 児童の適切な指導に向けて人権問題に関する共通理解を図るとともに、教職員一人一人の人権意識を高揚する。
- ・ 毎月の職員会議で、気がかりな児童についての話し合いの場をもち、開かれた学級づくりと全職員による児童理解に努める。

(3) 全校児童に対する取り組み

- ・ 縦割り班活動を通して、仲間意識や連帯感、コミュニケーション能力を育てる。
- ・ 気持ちのよいあいさつ、元気な返事、場に応じた言葉づかいができるよう、全校をあげて取り組む。
- ・ 人権強化週間を設け、人権意識を高める活動を充実させる。
- ・ 全校児童を対象に、講演会を開く。
- ・ 特別養護老人施設訪問(主に1・3・5年)、保育園児との交流、地域の人々との交流など、様々な人々との関わりを通して人権に対する意識を高めていく。
- ・ Q-Uテストの結果分析を基に児童一人一人との教育相談を行い、個に応じた対応に努める。

(4) 保護者に対する取り組み

- ・ 学校だより、学級だより、HP、授業参観、家庭訪問、PTA行事等を通して、教育方針について理解と協力を得たり、人権啓発を行ったりする。
- ・ 講演会への参加を呼び掛ける。

(5) 人権教育研修計画

回	月日	研修課題・内容	対象	講師・資料等
1	4/28	人権教育全体計画・推進計画・年間計画の作成と共通理解	教職員	
2	4/30	いじめ防止対策の共通理解	教職員	生徒指導主任
3	5/26	嶺南地区人権教育研究協議会の伝達講習会	教職員	人権教育主任
4	12/1 ～5	人権週間の取り組み(集会・ビデオ視聴など)と保護者への人権啓発	児童・保護者	
5	12/2	人権教育講演会	児童・保護者	築山清美
6	12/7	人権教育	教職員	上北理加
7	2/9	人権教育のまとめと次年度に向けての課題	教職員	

